

# 北茨城市の観光・特産品

朱色の「六角堂」が映える青い海、秋には紅葉が美しい「花園溪谷」をはじめ、北茨城市には全国からもファンが訪れる観光名所がたくさんあります。今回はその一部をご紹介します！

## 北茨城市の観光名所



華川町 花園神社

大杉、高野槇の老木が立ち並び、木々の緑に朱塗りの仁王門、拝殿、本殿が映える様は荘厳。パワースポットとしても知られています。



華川町 花園溪谷

春のシャクナゲや初夏の新緑、秋の紅葉と、四季を通じて景色を楽しめます。特に花園川をはさんだカエデやヤマモミジの紅葉は絶景です。



大津町 五浦海岸・六角堂

大小5つの入江が連なり、高さ50mの断崖絶壁が続く「五浦海岸」。「日本の渚100選」や「日本の音風景100選」にも選ばれています。また、岡倉天心設計の「六角堂」は「観瀾亭」とも呼ばれ、市を代表する観光名所です。



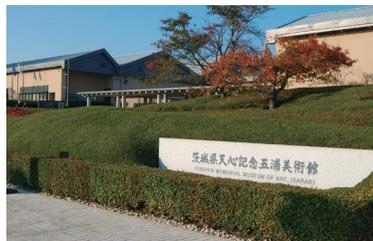
大津町 大津漁港

年間数万トンの漁獲量を誇る県内随一のまきあみ漁港。松ヶ崎の美しい景色が広がり、朝夕の出入船の情景も素晴らしく感じられます。



関南町 北茨城市漁業歴史資料館  
よう・そろう

海の伝統文化や茨城県の漁業などについて学ぶことができます。漁業体験や魚のさばき方教室などの体験ができ、買い物や魚料理も楽しめます。



大津町 茨城県天心記念五浦美術館

岡倉天心や横山大観をはじめ、五浦を愛した作家たちの業績を顕彰するとともに、優れた作品を鑑賞できる美術館として1997(平成9)年に開館。「五浦海岸」の美しい景色を一望できます。

## 歳時記

- 1月 全国あんこうサミット
- 3月 桃源郷芸術祭
- 5月 常陸大津の御船祭(5年に1回)
- 5月 花園のささら
- 8月 大津の盆船流し
- 8月 北茨城市民夏まつり
- 10月 北茨城市ノルディックウォーキング
- 11月 雨情の里 港まつり
- 12月 磯原節大会



大津町の「佐波波地祇神社」で5年に1度、5月2～3日に行われる「常陸大津の御船祭」。国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

## 北茨城市の特産品

吹きガラスも体験できる！



花園牛

県北地区で生産される銘柄牛。ここで育った最も格付けの高い最高級和牛を「花園牛」ブランドとして期間限定で販売しています。



どぶろく

2004(平成16)年に関東で初めて「どぶろく特区」に認定。華川町にある3軒の農家民宿で自家製どぶろくを味わえます。

## あんこう鍋・どぶ汁

「あんこう鍋」や郷土料理の「どぶ汁」はまさに冬の代表料理。なかでも、水を使わず、あんこうと野菜の水分のみで作る「どぶ汁」は北茨城市オリジナルです！



## ガラス製品

「マウントあかね」と併設する「ガラス工房シリカ」ではオリジナルのガラス作品が購入できます。ガラス体験も大人気！



## 芸術によるまちづくり

どこまでも広がる青い海、断崖に打ち寄せる白い波、岬に生い茂る松の緑。その美しい風景に魅せられた岡倉天心は、「東洋のパルピゾン」と称して五浦の地に「日本美術院」を置き、ここから新しい美術の創造と世界への発信を行いました。多くの文化人たちが創作活動の拠点として選んだ北茨城市は、現在もかつての美しい景色が人々の心を惹きつけています。

北茨城市ではこうした歴史や芸術的な風土・資源を生かして「芸術によるまちづくり」を展開中。「地域おこし協力隊」とともに、「人」と「芸術」が共存共栄する持続可能な社会を目指して、新しい事業にも意欲的にチャレンジしています。

## 芸術を愛するあなたが北茨城市に住むべき3つのポイント！

### 「期待場」など芸術の場が充実

廃校となった小学校を活用した「期待場」、古民家を改修したギャラリー&アトリエ「ARIGATEE」など、芸術のための場が次々と誕生。静かな自然の中で創作活動に打ち込み、かつ多くの人に作品を見てもらえる環境が整っています。

### 最大200万円の補助金制度がある

茨城県北地域以外から「期待場」のシェアオフィスに入居し、新たに事務所を開設するクリエイティブ企業などを対象に、初年度の入居にかかる費用の1/2(最大100万円)を補助します(県の補助金と併用で最大200万円)。

### アートイベントが活発化

「地域おこし協力隊」および一緒に地域を盛り上げる仲間を「富士ヶ丘Favoratory」と名付け、2017(平成29)年から様々なプロジェクトを企画・実行。2018(平成30)年から毎年開催されている「桃源郷芸術祭」もそのひとつです。



期待場(きたいば)

北茨城市関南町  
富士ヶ丘756  
TEL:0293-24-7787  
地域おこし協力隊アトリエ  
TEL:0293-46-0362

廃校になった「旧富士ヶ丘小学校」を、「北茨城市生涯学習センター」の分館として整備。「五浦天心焼」の普及を図るため、校舎1階には陶芸講座室・窯室・ろくろ室を設けたほか、芸術家専用のシェアオフィスも開設。2・3階の各教室はアトリエに、体育館はギャラリーに生まれ変わりました。命名は北茨城市出身のアーティスト石井竜也さん。



ARIGATEE

北茨城市関南町  
富士ヶ丘2517  
TEL:0293-24-5231

「地域おこし協力隊」の石渡夫妻がアトリエとして使いながら改修を進めてきた築150年の古民家。2018(平成30)年3月の「桃源郷芸術祭」のときにギャラリー&アトリエとしてオープンし、現在は北茨城市でアート活動をする人の拠点として利用されています。「ARIGATEE(ありがてえ)」という名前は感謝の意味と、もともとは「有賀さん」の家だったことに由来。

## 「地域おこし協力隊」が活躍中！



石渡のりお・ちふみさん

山と海が近くあって自然と共に暮らせる北茨城市は、創作に没頭できる地域です。



都築響子さん

北茨城市は自然豊かで芸術活動への支援も多く、アーティストにとってとても住みやすいまちですよ。



成川夢子さん

神戸芸大を卒業後、北茨城市の「芸術によるまちづくり」に興味を持ち北茨城市に移住！

## 桃源郷芸術祭



「地域おこし協力隊」のプロデュースにより2018(平成30)年から始まった、北茨城市の新しいアートイベントです。

海と山に囲まれた自然豊かな北茨城市、陶淵明が描いた理想郷「桃源郷」になぞらえ、「期待場」など市内各所の会場で開催されます。作品の展示販売のほか、ワークショップなどの多彩な催しが行われています。